

令和2年度浜松市社会福祉審議会

第5回高齢者福祉専門分科会会議録

- 1 開催日時 令和3年1月22日（金）午後3時00分から午後4時07分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況 委員（9名）
 石川 恵一（浜松市自治会連合会 理事）
 渥美 みつ（浜松市老人クラブ連合会 副会長 女性部浜北地区代表）
 鈴木 雅教（浜松市ボランティア連絡協議会 会長）
 小栗 康義（社会福祉法人浜松市社会福祉協議会 常務理事）
 鈴木 幸子（浜松市民生委員児童委員協議会 理事）
 小杉山 敬（浜松市社会福祉施設協議会 理事）
 藤島 百合子（一般社団法人浜松市医師会 理事）
 酒井 昌子（聖隷クリストファー大学 教授）
 平野 岳子（浜松市議会）
- 事務局（14名）
 健康福祉部 山下部長
 高齢者福祉課 渡辺次長兼課長 鈴木担当課長 亀田課長補佐
 鈴木G長 門屋G長 山根G長 坂本G長 宮崎 高橋
 健康医療課 島次長兼課長
 介護保険課 徳田課長、大村課長補佐
 健康増進課 小山課長
- 欠席委員（1名）
 松本 礼子（公益社団法人静岡県看護協会 西部地区支部役員）
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事内容 （1）パブリックコメントの実施結果について
 （2）はままつ友愛の高齢者プラン（修正案）について
- 6 会議録作成者 高齢者福祉課 生きがい・長寿政策グループ 宮崎
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
 録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(小杉山会長)

議事の公開非公開について、個人情報などの非公開情報を審議する予定はないので公開としたいが、よろしいか。

(異議なし)

(1) パブリックコメントの実施結果について 及び (2) はままつ友愛の高齢者プラン(修正案)について

(小杉山会長)

(1) パブリックコメントの実施結果について 及び (2) はままつ友愛の高齢者プラン(修正案)について、事務局から説明願いたい。

(渡辺健康福祉部次長兼高齢者福祉課長)

資料に基づき説明

(小杉山会長)

事務局から説明されたが、何か意見や質問はあるか。

(藤島委員)

市民がプランP26重点施策2を読んだときに、ACPとは何かが分からないまま読み進めて、コラムの途中まで来てようやく分かるという構成になっている。最初にACPの定義が分かるようにしたほうがいい。コラムも段落を入れ替えて、最初にACPとは、というふうに書いたほうがいい。

(平野委員)

概要版P6「※ACPとは…」の説明が分かりやすい。また、人生会議手帳のイラストを概要版P6の重点施策2へ入れるとさらに分かりやすい。

(酒井委員)

提案4について、図表の中に矢印でコメントを追加しているが、プランだけ見たときに矢印の意味が分かりにくいので、もう少し工夫が必要だと思う。表現が固いので、プランはまだしも、概要版では市民向けにやわらかくできたらいい。

質問2について、プランP6「プラン策定の視点」の説明を、図表の下ではなく上に配置したほうが分かりやすい。

プランP21「地域包括ケアシステム」の図表について、説明が他ページにあるならば、そのページ数を括弧で記載したほうが分かりやすい。

プランP46【現状と課題】3つめの○にある「業務の効率化」は語弊があるので修正してほしい。「働く人にとって働きやすい職場」であると定着が進むと思う。

(小栗委員)

前回、地区社協のことをお話しさせていただいて、プランP35の協議体の図のなかに追記されたが、それ以外の修正が少なく、さみしく感じる。プランP23「6地域共生社会の実現に向けた事業の推進」に「(3) 地域福祉推進の要となる地区社協への活動支援」を追加し、プランP35の協議体の図の下に説明を入れたらどうか。プランP36、上位計画である地域福祉計画からの抜粋の図表で地区社協が色付けされているように、地区社協は上位計画でも強調されていることから、地区社協の記述は必要と考える。

プランP50の成果目標に「住民主体サービス実施か所数」とあるが、これは地区社協のサロンや家事支援が基になっていると考える。地区社協の強化に力を入れれば、他のボランティア団体やNPOなども追従してくると考えられるので、再考をお願いしたい。

(鈴木幸子委員)

一般市民にとってプランの理解は難しいかもしれないが、概要版は分かりやすいものにしてほしい。社協と地区社協の違いは理解されていない。地区社協に力を入れることで住民主体のより良い地域になるのではないかと思った。

(石川委員)

パブリックコメントの件数が少ない。

(渡辺健康福祉部次長兼高齢者福祉課長)

前回55件、前々回102件あった。途中経過で件数が少なかったので施設等に投げかけてはみたが、結果的には17件だった。

(石川委員)

概要版を、世帯に配布するようなA3両面に集約することは難しいか。

(鈴木雅教委員)

プランを読めば分かるが概要版はテーマが載っているだけで内容が分からない。広報はままたつにプランの要点を掲載するだけでもいいのでは。

プランP13(9)特別養護老人ホーム入所者待機数について、待機者実人数が1521人、在宅で要介護度4・5の重度の待機者が242人いるのに、空床は239床しかないというのが理解できない。施設整備を行わないと断言していいのか心配。

(渡辺健康福祉部次長兼高齢者福祉課長)

希望する施設に空きがないという場合もある。回転はしており、ずっと入れないで待っているわけではない。

(小杉山会長)

受け皿があることを示さないと心配になるのは分かる。必要な方がサービスを受けられるように取り組んでもらいたい。

(渥美委員)

プランは難しく理解できないところが多い。

(藤島委員)

特別養護老人ホームの待機者に関連して、国の基準が要介護度3以上になってから、在宅から施設へ入所される方はほとんどいなくなり、入所を待てないような状態の方が、病院経由で入所されることが多くなった。重症度が高いため、悪化して病院に戻ったり死亡されたりするケースもある。保険として複数の施設に入所申込をする方もいるが、すぐに入所しないと困るような状態の方ばかりではない。比較的急を要する方は以前と比べるとスムーズに入所できている。

(平野委員)

概要版P3に、認知症高齢者が5人に1人になることを示すグラフも追加してほしい。

今回のプランの審議の際には、ぜひカラー版をご用意いただきたい。

(鈴木雅教委員)

広報はままつで概要版を紹介するのであれば、表紙のイラストをカラーで載せると分かりやすい。

(渡辺健康福祉部次長兼高齢者福祉課長)

広報はままつ特集ページでの紹介を検討する。

(小杉山会長)

プランの最後に、委員名簿だけでなく事務局職員の名前を入れられないか。

それぞれの立場からの貴重なご意見をいただいた。

以上で議事を終了する。

4 健康福祉部長お礼

5 連絡事項

6 閉会